

令和3年度 応 神 中 学 校 総 括 評 価 表

		自 己 評 価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指数と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
1 豊かな心の育成	①人権教育の推進 ②自尊感情を高める教育活動の推進	<p>評価指標</p> 生徒アンケートにおいて ①「互いの人権を大切にし、仲間を大切に生活している。」 95%以上 ②-1「自分のことが好きである。」70%以上 ②-2自分が責任を果たすことを通して、充実感を得られるような教育活動を学期に1回以上実施する。	<p>評価指数の達成度</p> ①「あてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒は93%で95%には及ばなかったが、教職員アンケートで「人権や生命を尊重する姿勢で指導にあっている」という項目は100%であった。 ②-1 43%で予想を大きく下回った。(今年度より学校評価に入れた項目) ③-2 資源ゴミ回収や文化祭、2年生においてはSDGsの活動など、各学期に1回以上責任をもって活動できる教育活動を実施できた。	<p>総合評定 (評定)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見) 小規模校の利点を生かし、個々にきめ細やかな支援を行い、行事や教育活動を通して充実感や達成感を味わわせることができた。</p>	2年生の生徒がSDGsを積極的に推進している成果もあり、保育所等でも作成したSDGsカルタで遊んでいる。地域にも活動が浸透してきている。 授業中も落ち着いて学習できている。さらなる学力向上に向けて、学習習慣の定着をお願いしたい。 自転車通学の様子が気になることがあった。今後も通学の様子を通して子どもたちを地域ぐるみで見守っていく。	自尊感情を高めるための教育活動をさらに推進し、自他共に大切にできる生徒の育成を図る。
2 たくましく生きる力の育成	①健やかな体の育成 ②生徒主体の活動の活性化	<p>評価指標</p> ①毎日、検温、手洗い、消毒を徹底するよう促し、新しい生活様式を意識した生活を心がける。 ②-1「清掃活動や校内美化活動に進んで取り組んでいる。」85%以上 ②-2「目標をもって学校生活を過ごしている。」75%以上	<p>評価指数の達成度</p> ①教職員が声かけをし、ほとんどの生徒は検温、手洗い、消毒が習慣化している。 ②80%が「進んで取り組んでいる」と答えている。生徒は積極的に朝のボランティア清掃に参加することができた。 ③教職員が積極的にキャリア教育を行った結果、78%が「目標をもって過ごしている」と答えた。	<p>(評定)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見) 給食も残食がほとんどなく、健康に留意した学校生活と生き生きとした教育活動が展開できている。</p>	キャリア教育をさらに推進し、生徒が目標をもって、意欲的に学校生活を過ごせるような状況を設定する。	
3 確かな学力の育成	①「わかる授業」の創造 ②家庭学習の支援 ③学習規律の確立	<p>評価指標</p> 生徒アンケートにおいて ①先生は、生徒が意欲をもって学習できるよう工夫し、わかりやすく授業を行っている。90%以上 ②「1日の家庭学習の平均時間」2時間以上60%以上 ③-1「授業の準備物などを忘れることなく、用意ができています。」80%以上 ③-2「真剣に授業に取り組んでいる。」88%以上	<p>評価指数の達成度</p> ①90%の生徒が「わかりやすく授業を行っている」と答えている。学力向上につなげていくことが課題である。 ②57%の生徒が2時間以上家庭学習に取り組んでいる。そのうち3時間以上は26%であった。 ③-1 84%の生徒が忘れずに用意できたと答えた。 ③-2 真剣に授業に取り組めたと答えた生徒は90%であった。	<p>(評定)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見) 落ち着いた学校生活ができおり、学習に対する意識も全体的に高くなってきた。</p>	基礎基本の徹底を教職員の共通理解のもと、さらに生徒に呼びかける。また、授業や家庭学習でタブレットをより効果的に活用できるように教職員のスキルアップを図り、学力向上につなげていく。	
4 保護者・地域との連携	①積極的な情報発信 ②「応神学園」としての連携推進	<p>評価指標</p> 保護者アンケートにおいて ①-1「学校は、教育目標や教育方針を学校便り等を通じてわかりやすく伝えている。」93%以上 ①-2「学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通を適切に行っている。」90%以上 ②地域の幼小中等学校や地域の方々と適宜連絡を取り合い、学期に1回以上情報交換をする。	<p>評価指数の達成度</p> ①-1 保護者の90%が「伝えている」と答えた。 ①-2 保護者の90%が「意思疎通を行っている」と答えた。 ②コロナ禍ではあったが、その都度連絡を取り合い、学校の状況を伝え、学期に1回以上の情報交換ができた。	<p>(評定)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>(所見) 学校の教育活動について、地域や保護者と共有し、協力を仰ぐことができた。</p>	保護者や地域の方々と話し合える機会を積極的につくり、教育活動をよりよくするための方策を模索する。	

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった